

はじめに

現在、宮城県内では、4,500を超える自主防災組織が結成されており、自分たちの地域を守るための活動に取り組んでいます。

しかし、組織は立ち上げたものの具体的な活動までは至っていなかったり、活動のマンネリ化に悩んでいたりとといった課題を抱える自主防災組織も多く、また、これから自主防災組織の立ち上げに取り組もうとする地区が多いのも現状です。

そこで、宮城県では、東北大学災害科学国際研究所と連携し、平成29年度から令和2年度までの4年間にわたり、「自主防災組織育成・活性化支援モデル事業」を実施する中で、様々な自主防災活動の支援に取り組んでまいりました。

本書は、4年間で13市町の18のモデル地区が取り組んだ事例をテーマ別に分類・整理したもので、それぞれの自主防災活動の中で得られた沢山のアイデアが詰まっています。多くの方々に活用していただき、自主防災組織の更なる活性化や新たな自主防災組織結成の一助となれば幸いです。

最後に、自主防災活動に熱心に取り組んでいただいた各モデル地区、市町村及び関係機関の皆様感謝申し上げますとともに、本書をきっかけとして、本県における地域防災力の更なる向上が図られ、持続可能な防災まちづくりへとつながっていくことを期待しております。

令和3年3月

宮城県総務部 危機管理監 千葉 章